

令和3年度学校運営連絡協議会実施報告書

I 組織

- 1 都立小平南高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- 2 事務局の構成
副校長、経営企画室長、総務保健部員1名 計3名
- 3 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主任教諭（総務保健部主任）、主幹教諭（教務部主任兼務）、主幹教諭（生活指導部主任兼任）、主幹教諭（進路指導部主任兼任）主幹教諭（2学年主任兼任）計8名
- 4 協議委員の構成
PTA会長、PTA副会長、近隣中学校長、大学准教授、近隣青少対委員会事務局長、地域体育施設指定管理者 計6名

II 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

- 1 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和3年7月30日（金）書面開催 協議委員7名 内部委員7名
 - ・協議委員・評価委員の委嘱、委員紹介
 - ・学校経営計画、本校の現状と課題
 - ・今年度の学校評価について
 - ・意見交換、事務連絡
 - 第2回 令和3年9月24日（金）書面開催 協議委員6名 内部委員7名
 - ・近況の教育活動報告
 - ・学校評価アンケートに関する内容検討、協議
 - ・意見交換、事務連絡
 - 第3回 令和3年12月3日（金）書面開催 協議委員6名 内部委員7名
 - ・近況の教育活動報告
 - ・アンケート結果から明確になった本校の課題と改善策
 - ・意見交換、事務連絡
- 2 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和3年7月30日（金）書面開催 協議委員2名、内部委員3名
 - ・学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析と考察
 - ・今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
 - 第2回 令和3年12月3日（金）書面開催 協議委員2名 内部委員3名
 - ・アンケート結果の分析・考察、課題の整理
 - ・評価報告書（原案）の検討
 - ・アンケート結果から明確になった本校の課題と改善策の取組・進捗状況

III 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- 1 学校評価の観点
「学校理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- 2 アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - 1 調査の対象
本校生徒（835名）、本校生徒保護者（835名）、地域（34名）、本校教職員（43名）
 - 2 アンケートの実施時期
令和3年10月25日（月）から11月19日（金）まで
 - 3 アンケート回収状況

		生徒				保護者				教職員
		全体	1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年	
令和 2 年度	対象者（人）	835	280	280	275	835	280	280	275	43
	回答者（人）	794	264	272	258	231	89	44	98	43
	回収率（%）	95.1	94.3	97.1	93.8	27.6	31.7	15.7	35.6	100

令和 元 年度	対象者(人)	827	280	276	271	827	280	276	271	48
	回答者(人)	821	279	271	271	529	214	167	148	48
	回収率(%)	99.3	99.6	98.2	100	64.0	76.4	60.5	54.6	100
平成 30 年度	対象者(人)	826	279	275	272	826	279	275	272	47
	回答者(人)	826	279	275	272	379	184	110	91	47
	回収率(%)	100	100	100	100	45.9	65.9	40.0	33.5	100

4 主な評価項目 学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動、健康安全、施設設備、その他

	学校運営	学習指導	生活指導	進路指導	特別活動	健康安全	施設設備	その他
生徒	①②	③④	⑤⑥⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫⑬	⑭	⑮	⑯～⑰
保護者	①②	③④	⑤⑥⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫⑬	⑭	⑮	⑯～⑰
教職員	①②	③④	⑤⑥⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫⑬	⑭	⑮	⑯～⑰

5 昨年度からの変更点

- (1) 生徒、保護者、教職員について Microsoft forms を利用したオンラインでのアンケートとした。
- (2) 健脚大会の実施時期が変更となったため⑬について今年は除外した。

アンケート結果

1 生徒アンケート

(1) アンケート結果

今年度の回答を見たときに、昨年度と比較して①、②の回答の割合が大きく下がっている。その理由については今年度からオンラインでの回答としたことで、本来4件法(①そう思う～④そう思わない、⑤わからない)で回答することになっているが、説明不足で5件法(①そう思う～⑤そう思わない)で回答している可能性がある。③と回答した生徒が多いことから、今年度については①②と回答した生徒を肯定的な意見とし、肯定の割合の低い項目も①、②の少ない項目とした。

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	⑥私は、日常生活のマナーや社会のルールを守り、あいさつもきちんとできている。	57.7%	1位 87.7%
2位	⑭現在、加入しているまたは過去に加入していた部活動に満足している。	52.3%	4位 73.8%
3位	②本校に入学してよかったと思う。	50.9%	2位 82.2%
4位	⑮本校の健康安全教育(保健安全に関する指導や生活講話等)は適切である。	46.5%	3位 77.1%
5位	⑦本校は、体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。	44.7%	9位 61.8%

② 肯定の割合が低い項目 (否定的意見の割合)

順位	質問項目	今年度
1位	⑱本校のホームページは充実している。	31.0%
2位	③本校の授業は、よく工夫された分かりやすいものが多いと思う。	36.0%
3位	⑲本校の電話や窓口での対応は親切で、ていねいである。	36.8%
4位	④本校の授業によって進路希望をかなえる確かな学力が付いていくと思う。	38.4%
5位	⑬本校の公孫樹祭に満足している。→ 小南祭に変更	38.8%

(1) 昨年度と比較すると肯定的な回答の割合が大きく下がっているが、傾向としては大きく変化していない

2 保護者アンケート

(1) 肯定率の高い項目、低い項目の比較

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	⑥子どもは、日常生活のマナーや社会のルールを守り、あいさつもきちんとできている。	67.1%	2位 87.8%
2位	②本校に入学させてよかったと思う。	63.2%	1位 89.7%
3位	⑤本校の生活指導(服装・頭髪・遅刻指導等を含む)に共感できる。	58.4%	4位 77.7%
4位	⑱本校の電話や窓口での対応は親切で、ていねいである。	52.8%	3位 79.6%
5位	⑮本校は校内の清掃・ゴミの分別等の環境整備ができています。	48.5%	7位 70.0%

② 肯定の割合が低い項目 (否定的意見の割合)

順位	質問項目	今年度
1位	③本校の授業は、よく工夫された分かりやすいものが多いと思う。	30.7%
2位	⑰本校のホームページは充実している。	33.3%
3位	④本校の授業によって進路希望をかなえる確かな学力が付いていくと思う。	33.8%
4位	⑩本校の進学を目指す取り組み（補習・補講・自習室など）は適切である。	39.4%
5位	⑫本校の公孫樹祭に満足している。→ 小南祭に変更	39.4%

3 教職員アンケート

(1) 肯定率の高い項目、低い項目の比較

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	③より良い授業を行うための工夫をしている。	88.4%	2位 93.8%
1位	⑥生徒は日常生活のマナーや社会のルールを守り、挨拶もきちんとできている。	88.4%	8位 87.5%
1位	⑨本校の進路指導（進路行事や情報提供、進路相談など）は適切に行われている。	88.4%	2位 93.8%
4位	④本校の授業で進路希望をかなえる確かな学力を身に付けることができる。	86.0%	11位 85.4%
4位	⑦本校は、体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。	86.0%	5位 89.6%
4位	⑩本校の進学を目指す取り組み（補習・補講・自習室等）は適切に行われている。	86.0%	11位 85.4%
4位	⑬生徒は本校の部活動に満足している。	86.0%	11位 85.4%

② 肯定の割合が低い項目（肯定的意見の割合）

順位	質問項目	今年度
1位	⑧本校の保護者会や生徒との相談体制（個人面談等を含む）は適切に行われている。	74.4%
1位	⑪本校の体育祭は適切に行われている。→ 学年実施	74.4%
1位	⑭本校の健康安全教育(保健安全に関する指導や生活講話等)は適切に行われている。	74.4%
1位	⑰本校のホームページは充実している。	74.4%
4位	⑫本校の公孫樹祭は適切に行われている。→ 小南祭に変更	76.7%
4位	⑮本校は校内の清掃・ゴミの分別等の環境整備ができている。	76.7%
4位	⑱本校は、親切でいい電話や窓口での対応をしている。	76.7%

4 地域アンケート

(1) 肯定率の高い項目、低い項目の比較

① 肯定の割合が高い項目

順位	質問項目	今年度	昨年度
1位	②本校が小平市の「避難場所」として指定されている事を知っていますか。	88%	1位、90.6%
1位	⑨本校の生徒はいきいきと学校生活（学校行事・部活動・登下校の様子）を送っていると思いますか。	88%	3位 78.1%
3位	⑪本校の校地の整備は行き届いていると思いますか。	84%	

② 肯定の割合が低い項目（肯定的意見（いいえ）の割合）

順位	質問項目	今年度
1位	①本校が地域の方々に授業を公開していることを知っていますか。	88%
1位	④本校のホームページをご覧になったことはありますか。	80%
3位	③本校の文化祭を見学したり、施設を利用したりしたことがありますか。	68%

5 考察

(1) 調査方法を変更したことによる調査の信頼性について

今年度より生徒、保護者、教職員について紙媒体でのアンケートから Microsoft Forms を利用したものに切り替えた。理由としては

- ①集計作業の手間が少なくなる。
- ②スマートフォンなどで簡単に回答できるため手軽である。
- ③紙媒体などを利用しないで済むので省資源である。

などが考えられた。

アンケートを実施したところ、いくつかの問題点が明らかになった。

- ①保護者アンケートの回収率が大きく減少してしまった。
- ②生徒の回答の中には同一生徒が複数回答している状況がみられた。
- ③生徒の回答については5件法と勘違いしていることが予想される。
- ④だれが回答したかを確認することができない。

その原因としては

- ①保護者への周知が不徹底であった。
- ②生徒アンケートについてはHR等で説明及び実施をする時間を確保しなかった。
- ③アンケートの回答方法について文書による説明だけでは不十分であった。

などがあげられる。そこで、来年度のアンケートにむけて以下の改善策を実行する。

- ・保護者アンケートについては丁寧な説明文書を作成し PTA のメールなどを活用して周知する。
- ・生徒アンケートについてはHR等で時間を取り一斉に実施する。その日欠席をした生徒に対して個別に対応する。
- ・回答方法の説明についてはオンライン上の回答中に説明文書を理解させる質問項目を導入する。

今年度はオンラインでのアンケートを導入したことによって、回答数の減少を招くこととなってしまった。また、生徒への説明不足によって4件法のアンケートが5件法で回答されている可能性が生じてしまった。その結果、今年度のアンケートの信頼性が低下してしまった。その結果今年度の結果を例年の数値と比較することはあまり意味を持たないと思われる。これらの改善は今後に向けて大きな課題である。来年度に向けてはアンケートの信頼性を高めるために適切な実施方法を検討し対応する必要がある。

(2) 生徒、保護者、教職員の回答の相違による学校の課題について

今年度はアンケートの分析について以下の方法をとった。

- ①生徒、保護者、教職員アンケートにおいて、肯定的な回答が多い設問（上位5問）、肯定的な回答が少ない設問（下位5問）を抽出した。
- ②抽出された項目を2つのカテゴリーごとに比較し、「どちらも肯定的な回答が多いもの」、「どちらも肯定的な回答が少ないもの」、「一方が肯定的な回答が多いが、もう一方は少ないもの」に分類した。
- ③分類結果をもとに本校の「ストロングポイント」と「ウィークポイント」を明らかにし、今後の対応について検討した。

・生徒と保護者について

どちらも肯定的な回答の多いもの

- ②生徒は本校への成果いつに満足している。
- ⑥生徒は日常生活のマナーや社会のルールを守り、挨拶もきちんとできている。

どちらも肯定的な回答が少ないもの

- ③より良い授業を行うための工夫をしている。
- ④本校の授業で進路希望を叶える確かな学力を身につけることができる。
- ⑫本校の公孫樹祭は適切に行われている。
- ⑰本校のホームページは充実している。

一方が肯定的な回答が多いが、もう一方は少ないもの

- ⑱本校は、親切でいい電話や窓口での対応をしている。

・生徒と教職員について

どちらも肯定的な回答の多いもの

- ⑥生徒は日常生活のマナーや社会のルールを守り、挨拶もきちんとできている。
- ⑦本校は、体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。
- ⑬生徒は本校の部活動に漫即している。

どちらも肯定的な回答が少ないもの

- ⑫本校の公孫樹祭は適切に行われている。
- ⑰本校のホームページは充実している。
- ⑱本校は、親切でいい電話や窓口での対応をしている。

一方が肯定的な回答が多いが、もう一方は少ないもの

- ③より良い授業を行うための工夫をしている。
- ④本校の授業で進路希望を叶える確かな学力を身につけることができる。

・保護者と教職員について

どちらも肯定的な回答の多いもの

⑥生徒は日常生活のマナーや社会のルールを守り、挨拶もきちんとできている。

どちらも肯定的な回答が少ないもの

⑫本校の公孫樹祭は適切に行われている。

⑬本校のホームページは充実している。

⑭本校は、親切でいい電話や窓口での対応をしている。

一方が肯定的な回答が多いが、もう一方は少ないもの

③より良い授業を行うための工夫をしている。

④本校の授業で進路希望を叶える確かな学力を身につけることができる。

⑩本校の進学を目指す取り組み（補習・歩行・自習室等）は適切に行われている。

⑮本校は校内のごみの分別等の環境整備ができています。

⑱本校は、親切でいい電話や窓口での対応をしている。

本校の「ストロングポイント」としては「生徒は日常生活のマナーや社会のルールを守り挨拶もきちんとできている」という点があげられる。生徒一人一人がマナーを守っていることで落ち着いた雰囲気を生み出している。落ち着いた校風は今後も守っていくために、学校全体で今一度、本校の良さである「生徒一人一人の落ち着き」再認識させたい。

「ウィークポイント」としては「本校のホームページは充実している」への肯定的な意見が少なかったように、情報発信及びPRが少ないということである。今年度から Twitter を開設するなどの工夫は行ったもののまだまだ浸透していないのが現状である。また、地域アンケートの結果についても、外部への情報発信が少ないために様々な情報が届いていない可能性が示唆されている。今後はHPを中心とした外部への情報発信を見直しより「外部に開かれた学校づくり」に取り組んでいく必要がある。

昨年度から新型コロナウイルス感染症の影響で多くの行事が中止や規模縮小を余儀なくされている。今回のアンケートにおいても公孫樹祭（文化祭）について生徒及び保護者にとっては満足できる活動とならなかった部分があった。保護者においては体育祭、文化祭ともに非公開で実施したため、生徒の様子を見ることができなかった。来年度に向けて令和元年までの公孫樹祭のように活動できるよう準備を進めていく。そのような中であるが、11月17日（水）には1、2年生を対象に2年ぶりに健脚大会を実施することができた。今回のアンケートには反映できなかったが、生徒は達成感を感じていたようである。

生徒と保護者、教職員の回答にねじれが生じている設問について「課題となるポイント」を見ると、最も顕著なのが「より良い授業を行うための工夫をしている。」と「本校の授業で進路希望とかなえる確かな学力を身につけることができる。」の2問である。この2問については教職員の肯定回答は高いものの、生徒及び保護者は低いという結果になっている。ここ2年間授業公開ができておらず、保護者が直接授業の状況を見て評価することが困難になっている。本校の取り組みについて適切に伝え保護者の理解を得ていくことが大切である。

（3）今後の課題

今回の学校評価アンケートから、本校の「ストロングポイント」である「学校の落ち着き」ということが明らかになった。校風として培われてきたこの部分は学校として大切にしていってほしいところである。

それに対して「ウィークポイント」ある情報発信については早急に対処していく必要がある。ホームページはもちろん、今年度から運用を始めた Twitter を活用し、より早い情報発信を目指していく。新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、できるだけ外部への情報発信などをふやし近隣の方々にも本校のことをよく知ってもらう工夫を行っていきたい。

今年度の学校評価アンケートによって明らかになった課題を分析し来年度に向けて適切な準備をしていく必要がある。

IV 学校運営連絡協議会の成果と課題

1 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- (1) 学校評価アンケートを活用し、その分析結果から本校の課題とその改善の方向性を学校経営計画に生かすことができた。
- (2) 学校評価アンケートで得られた学校への意見・要望に対して、企画調整会議等において学校としての改善策を明確にすることができた。

2 学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題

- (1) 学習規律、学習意欲、学習習慣の確立を図るための指導及び学習環境を保証するための支援の充実により、確かな学力の定着とさらなる向上を更に推し進める。
- (2) 3年間を見通した進路指導計画に基づくキャリア教育を組織的に進めるとともに、最新かつ正確な進路情報の提供と発信に努め、生徒の希望進路の実現を更に推し進める。

V 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

1 生活指導

- (1) 引き続きいじめ防止基本方針に則り、いじめのない校風を維持するため、いじめは絶対許さないという毅然とした態度で、生徒に意識付けを行った。
- (2) 生徒が納得できる指導を全教員が一致して行えるよう、指導基準や指導方法について年度当初に生活指導部中心に再確認を行うとともに、体罰の根絶への意識を徹底した。

2 進路指導

- (1) 生徒一人一人が将来の職業や専門を踏まえた進路希望を実現するため、進路指導部が主導して、3年間を見通した進路計画を立案し、LHRや総合的な学習の時間等を活用した体系的なキャリア教育に取り組み、将来の職業選択を見据えた進路選択ができるようにした。
- (2) 定期考査や実力テスト、模擬試験等のデータ分析を活用して、生徒の進路実現に向けた学力分析や研修会を実施し、学力向上と進路選択のために役立たせるようにした。

3 学習指導

- (1) 学力スタンダード及び実力テストに基づき、その結果分析を活用して、校内研修により問題点を共有化し、授業改善を行った。
- (2) 課題・宿題・小テスト等を教科と学年が連携して計画的に課すとともに、予習・復習を前提とした授業を行うことで、生徒に学習習慣を身に付けさせるように努めた。

4 特別活動

- (1) 生徒会組織を機能させることで、生徒が自ら考え、主体的に判断・行動できる場面を意図的に設定しながら、生徒に自信と責任感を持たせ、生徒の学校行事への満足度を高めるようにした。
- (2) 引き続き、補習等と部活動が重なった場合の補習優先の原則の徹底や、活動時間の厳守等時間規律の徹底を図ることで、限られた時間内での計画的かつ効率的な活動を促した。

5 施設設備

経営企画室職員と教育職員との連携を強化し、中長期的見通し立った施設・備品・設備の更新を行うとともに自律経営予算の計画的な事務執行を進めるように努めた。

VI 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

1 協議委員の人数 6人

2 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
3	2				1	

3 委員からの意見

- ① 今年も、大変な1年間だったと思います。
- ② 学校運営に生徒の代表との協議を取り入れたらよいかと思っています。
- ③ 今年は健脚大会が実施できてよかったです。
- ⑤ 交通ルールについての指導をお願いします。

VII 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績

{実績} 職員会議 0回 延べ 0人 企画調整会議 0回 延べ 0人

VIII その他

特になし